

奥入瀬を担う人財育成、専門知の集積・発信を目的に 令和8年度第2回奥入瀬アカデミーを開催します

奥入瀬アカデミーは、奥入瀬に関与する人財の育成、知的情報の蓄積及び奥入瀬の魅力や価値等の発信を目的に、産学官連携で取り組む継続教育プログラムです。

令和8年度第2回目の講演は、東北大学大学院農学研究科准教授の深澤遊氏をお招きして「倒木っておもしろい！枯木こそ森のにぎわい～倒れた木をめぐる生態系はこんなにもミステリアス～」をテーマに、以下のトピックについて最新の研究成果を交えながら分かりやすく解説いただく予定です。

- ・ 枯死倒木が森林や地球環境に果たす役割
- ・ 微生物による木材分解のメカニズムや菌糸体の知性
- ・ 枯木の除去が生態系に及ぼす影響

倒木や枯木を通じて森林の新たな一面に触れ、奥入瀬の自然をより深く知ることで、「森の見方」が変わる絶好の機会です。つきましては、広く一般の方々へ周知いただきたく、報道のほどよろしくお願いいたします。

記

1. 日時 令和8年6月20日（土）15:00～17:00
2. 場所 十和田市民文化センター 生涯学習ホール
3. プログラム (1) 主催者挨拶

(2) 講演：「倒木っておもしろい！枯木こそ森のにぎわい

～倒れた木をめぐる生態系はこんなにもミステリアス～」

講師：東北大学大学院農学研究科 准教授 深澤 遊

※詳細は「奥入瀬フィールドミュージアム」HPをご覧ください。



報道機関用提供資料	
担当課	県土整備部道路課
担当者	整備推進G 工藤 一彦
電話番号	直通：017-734-9651 内線：6830
報道監	県土整備部次長 鈴木 英宗

2026

奥入瀬アカデミー講座

参加費 **無料**

【お申し込み】

各回専用の予約フォームから
お申し込みください。

奥入瀬の自然に
興味のある方、
お気軽に
ご参加ください。



講師

理学博士
植物生態学者

多田 多恵子氏

Tada Taeko

東京大学大学院博士課程修了。植物の繁殖戦略や昆虫や動物との相互関係などテーマに野外研究を行う生態学者。東京農工大学、立教大学などで教鞭をとるほか、自然観察会の講師、図鑑や絵本の執筆・監修など多方面で活躍。植物学の普及に貢献した功績により第29回「松下正治記念賞」ならびに2022年度日本植物学会特別賞を受賞。著書に「したたかな植物たち 春夏篇/秋冬篇」(ちくま文庫)「道草ワンダーランド」(NHK出版)など多数。

第1回 奥入瀬で「野の花さんぽ」を楽しもう

～植物観察を通じて知る魅力いっぱいのフシギ世界～

5/24(日) 16:00-18:00 ◎定員90名

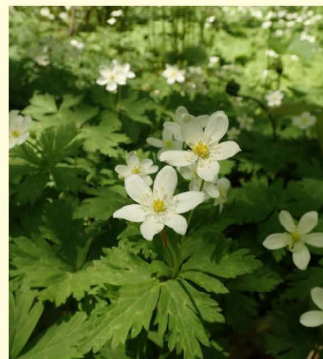
【開催場所】

十和田市地域交流センター(とわふる)
大ギャラリー

奥入瀬アカデミーでは来たる5月24日(日)NHK・Eテレ「趣味どきっ!道草さんぽ」講師、NHKラジオ「子ども科学電話相談」植物担当回答者としてもおなじみの植物生態学者・多田多恵子先生による講演会『奥入瀬で「野の花さんぽ」を楽しもう—植物観察を通じて知る魅力いっぱいのフシギ世界—』と題した講演会を開催いたします。奥入瀬渓流遊歩道で出会える植物について、生態学の観点から紹介していただきます。皆様のご参加をお待ちしております。



お申し込みはこちら



第2回 倒木っておもしろい! 枯木こそ森のにぎわい

～倒れた木をめぐる生態系はこんなにもミステリアス～

6/20(土) 15:00-17:00 ◎定員90名

【開催場所】

十和田市民文化センター
生涯学習ホール



枯れて命を終え、倒れた樹。しかし生命の循環はそれで「終わり」になるわけではありません。動物や昆虫を養い、菌類に分解された後には土に還るまでの間も炭素を貯留するなど、枯死倒木は森林生態系や地球全体に関わる重要な働きを担っています。本講演会では、これまであまり注目されてこなかった「枯死倒木の自然誌」を最新の研究を交えて紹介します。微生物による木材分解のメカニズム、意思決定ができる菌糸体の知性、林床からの枯木除去が生態系に及ぼす影響、枯木が地球環境の保全に役立つ仕組みなど、身近なのに意外と知られていない枯死倒木の世界をさまざまな視点からわかりやすく軽快な語り口で解き明かします。あなたの「森の見方」が確実に変わることでしょう。「森」に興味関心のあるたくさんの方々のご参加をお待ちしています。

講師

東北大学大学院
農学研究科
農学部准教授

森林生態学者

深澤 遊氏

Fukasawa Yu



東北大学大学院農学研究科農学部准教授。森林生態学。1979年山梨県生まれ。信州大学農学部卒業、京都大学大学院農学研究科修了。日本学術振興会特別研究員、森林組合職員、財団法人トトロのふるさと財団職員を経て現職。日本生態学会宮地賞、日本菌学会奨励賞、日本森林学会奨励賞を受賞。独自の研究に挑戦する若手研究者「東北大学プロミネントリサーチフェロー」に選出。枯死木の分解を行う菌類群集を中心に、地中の菌根菌や枯木をつくる腐朽菌といった菌類による「見えない森」の生態学を研究。小学生の頃からコケと変形菌に興味を持ち、大学構内の森で変形菌を探し、世界中の研究者に声をかけて6カ国での共同研究を行ない、枯木を訪ねて世界中の森をめぐる。著書に「枯木ワンダーランド」「キノコとカビの生態学」、訳書に「地上と地下のつながりの生態学」「枯死木の中の生物多様性」など。

About Oirase Academy

奥入瀬アカデミーがめざすもの

奥入瀬に学び、奥入瀬を楽しむ。
エコツーリズムの未来と、
奥入瀬を愛する人々の〈輪〉を広げる新たな試みです。

国立公園特別保護地区および国指定天然保護区域(天然記念物)である溪畔森林環境を国道が貫通しているという、他に例のない自然公園である奥入瀬を、多様な視点で解析し、その成果を広く共有していくことを主な目的としています。

2026年度の奥入瀬アカデミーは、①アカデミー講座 ②エコツアーガイド養成講座 ③市民向け講座の3つの主で構成されます。それぞれの興味関心・趣味嗜好を刺激する、知的好奇心に満ちたラインナップで講座を展開していきます。

「奥入瀬のことを、もっと知りたい」と思う人であれば、どなたでも参加可能。このアカデミーの〈学長〉は奥入瀬そのものです。奥入瀬を学び、奥入瀬を楽しむ。見流すだけの観光地から、「観る」を味わう観光地への転換。それが「奥入瀬アカデミー」が目指す未来です。

●奥入瀬アカデミー事務局
NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会
【電話】0176-23-5866
【メール】info@oiken.org



主催：奥入瀬十和田利活用協議会
奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会
青森県



奥入瀬アカデミーの
詳細・最新情報は
←こちらから
(奥入瀬フィールドミュージアム)

